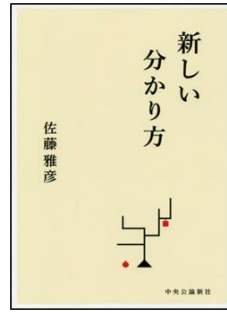




姫神
安部龍太郎／著
文藝春秋（アベ）

争いが続く朝鮮半島と倭国の平和を願う聖徳太子の遣隋使計画。その実現に陰で働いた宗像一族の若き巫女・伽耶たちの活躍。近年、沖の島の発掘調査で見つかった「金の指輪」にまつわるお話。



新しい分り方
佐藤雅彦／著
中央公論新社（757）

右のページと左のページを見比べてみると…。「そういうことか！こんなことが起こっていたのか！」この本を「読む」のではなく、「体験」して、様々な視点の存在を実感してみよう。



はかれないものはかる
工藤あゆみ／著
青幻舎（726）

あなたの励ましの効力をはかる。言うのと言わないのの大きな差をはかる。切り替えの早さを計る。数字では表せない感情や言葉、出来事の質や重みを“はかってみよう”と、一文とイラストで表す。気のむくままに、パツとページを開いてみよう。



何度でも行きたい世界のトイレ
A Spotter's Guide
ロンリー・ブラネット／編 中島由華／訳
河出書房新社（528）

トイレと一口に言ってもお国によってさまざま。絶景を楽しめるトイレあり、まるでアート作品のようなトイレもあり、ここで用を足すの？と驚くほどオープンなトイレもあり…。世界各地のおもしろいトイレを紹介。トイレを通して、お国柄がみえてきます。



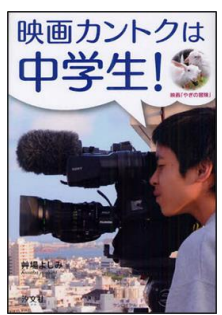
世界名作“ひとこと”劇場
読んどけばよかった、でもきつと読まない、名作文学の短すぎるあらすじ101選
ジョン・アトキンソン／著 川合亮平／訳 東佑亮／訳
ハーパー・コリンズ・ジャパン（902）

人vsクジラ。いや、クジラ勝つにきまつてるやん（「白鯨」より）。読んどけばよかった、でもきつと読まない西洋文学の名作を、ゆるーいイラストと短い関西弁で紹介。



サブキャラたちの日本昔話
浦島太郎・桃太郎・金太郎
斉藤洋／作 広瀬弦／絵
借成社（サイ）

日本昔話には、たくさんの謎がかくされています。金太郎は、本当にクマと相撲をとったのか？そしてなぜ、源頼光の家来になったのか？その謎に答える脇役（サブキャラ）たちのうちあけ話。



映画カントクは中学生！
嶋場よしみ／著 汐文社（77）

映画監督と聞くと大人の方をイメージすることが多いでしょう。この本は、日本史上最年少、14歳で映画監督になった中学生についてかかれています。映画作りの様子や夢を持ち続けることの大切さを伝えています。



わけいっても、わけいっても、インド
蔵前仁一／著 旅行人（722）

ヒンドゥー教が成立する以前より、家庭の女性が、家内安全や豊穰を祈って家の壁に描いたというミティラー画。それを求めて著者はインドを旅する。ページをパラパラめくって写真を見るだけでもパワーをもらえます。



拝啓、本が売れません
額賀濤／著
ベストセラーズ（023）

この出版不況の中、作家・額賀濤（ヌカガミオ）と編集者が、自ら、売れる本を探し求める旅に出る。そこまでするか！？というラストとは？これを読んだら、あなたはきっと、額賀濤の作品を読まずにはいられない。



王への手紙 上・下
トンケ・ドラフト／作 西村由美／訳
岩波書店（BNドラ）

騎士になるための最後の試験の夜、16才の見習い騎士ティウリは、大怪我を負った見知らぬ男から手紙を託された。その手紙を、大山脈のかなたの隣国の王に届けることに…。はたして、ティウリは届けることができるのだろうか。



もしときサバイバル術 Jr.
災害時に役立つスキルを手に入れろ！
片山誠／著 高橋未来／イラスト
太郎次郎社エディタス（36）

近ごろ、新聞やテレビで、地震や台風などの災害情報を多く目にする。もし自分の身に起こったら…。災害発生時とその後を生き抜く力を、8つのプログラムを通して身につけよう。自分を守り、誰かを助けるために災害時に役立つ知識やスキルを学ぶ。



注文をまちがえる料理店
忘れちゃったけどまちがえちゃったけどまあいいか
小国士朗／著
あさ出版（493.7）

「注文をまちがえる料理店」へようこそ。「注文をまちがえるなんて変なレストランだな」きっとあなたはそう思うでしょう。このレストランのホールで働く従業員は、みんな認知症の方々です。2017年6月に2日間だけ限定でオープンしました。まちがえることを受け入れ、まちがえることを一緒に楽しむ本当にあった物語です。